

密着 消防団の訓練

消防団は、いつどこで起こるか分からない火災や災害などに備えて、日々の訓練は欠かせません。

では、消防団はどのような訓練をしているのでしょうか。第一分団の訓練を取材しました。



防火服に着替え、点呼をとって訓練開始。分団長から訓練内容の説明を聞き、団員は素早く準備に取り掛かります。



消防職員から、ポンプ車にホースをつなぐ際の実験を受けています。効率よく消火活動を行うためには、正しい器具の操作が欠かせません。

訓練は月に1回の頻度で行っています。消防団員は、日中仕事をしている人が多いので、19時から訓練を開始します。

消防職員や先輩の団員から、消火方法など丁寧に教えてもらえるので、初心者でも安心して訓練に参加することができます。

消防団の活躍の現場から

実際に消防団は、現場でどのような活躍をしているのでしょうか。

近年では、飲食店ビル火災や工場での火災、住宅火災の際に消防団員に招集がかけられました。

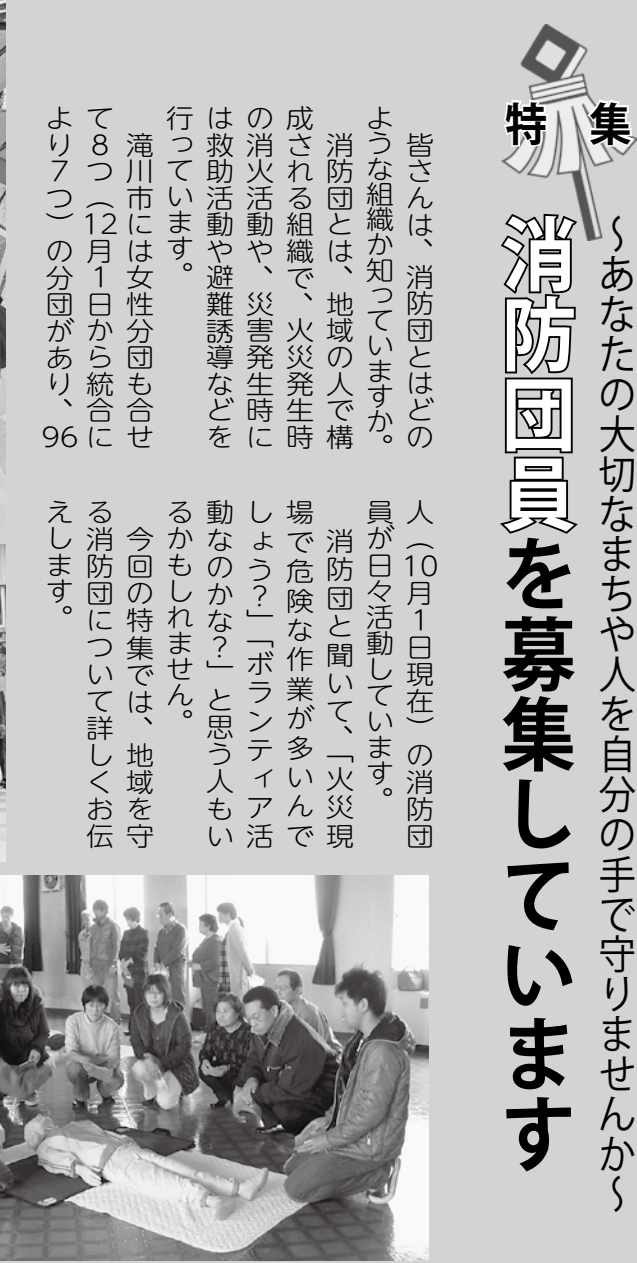
現場では延焼防止のための放水や、消火栓から水を引っ張ってくるなど消防士の後方支援を行い、これらの火災は無事に鎮火することができました。



56はしごに登り技を披露する登梯と総監に向け敬礼する団員一同（消防出初式）7放水体験で、子どもが団員と一緒に的をめがけて放水（防火フェスティバル）89火災を想定した放水や操法訓練を行い団員の日頃の訓練の成果を披露（消防演習）



1地域の人が安心して暮らせるよう、高齢者世帯等を除雪 23団員全員の足並みのそろった見事な整列と行進（消防演習）4女性分団員がAEDを使い心肺蘇生の方法をレクチャー（救命講習）



特集 あなたの大切なまちや人を自分の手で守りませんか？ 消防団員を募集しています

皆さんは、消防団とはどのような組織か知っていますか。消防団とは、地域の人で構成される組織で、火災発生時の消火活動や、災害発生時には救助活動や避難誘導などを行っています。

人（10月1日現在）の消防団員が日々活動しています。消防団と聞いて、「火災現場で危険な作業が多いんじゃないの？」「ボランティア活動なのかな？」と思う人もいます。今回の特集では、地域を守る消防団について詳しくお伝えします。

消防団の活動

火災、風水害、地震発生時の出動・捜索

消防団は、市内で大きな火災が起こった際の消火活動の後方支援を行うほか、風水害等が発生した場合、河川水位の警戒や浸水被害に備えて土のう積みを行います。

地震が発生した際や、山で遭難者が発生した場合には、捜索・救助活動を行うなど、さまざまな災害対応を行います。



消防団員への出動要請は強制ではなく、出動できる人が、できる時にやるというものが基本です。

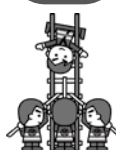
火災防ぎよ訓練 月例訓練



消防団は、火災や災害が発生した時に備えて、毎月訓練を行っています。

訓練では、消火のために必要な技術を磨いています。

消防出初式



火災予防意識の普及のために、毎年1月初旬に行われる新春の恒例行事です。

出初式では、消防団員が行う伝統的な登梯の演技が披露されます。

救命講習



万一の事態が目の前で起きたとき、救急隊が到着するまで適切に対処いただくため、応急手当の方法や、AEDの使い方などを教える講習会を行っています。

火災予防運動 歳末警戒



各家庭を訪問し、住宅用火災警報器などが適切に設置してあるか点検したり、防火指導を行ったりして、防火意識を高めるための広報活動を行います。

滝川消防団の行事

消防団の1年は、こういった行事があるのでしょ。主なイベントをピックアップして紹介します。

6月 消防演習

消防団が日頃の訓練の成果を発揮し、地域を守るための力を確認するイベントです。本番さながらの放水訓練などが披露されます。

8月 防火フェスティバル

消防の活動を多くの方に知ってもらうためのイベントです。放水体験や、なりきり消防士など楽しい催しがいっぱいです。

4・10月 春・秋の火災予防運動

空気が乾燥し、火災が発生しやすくなる春と秋に、火災の発生防止と被害軽減のため、街頭啓発や住宅用火災警報器の点検を行います。



災害対応・防災・救急の知識や技術が身につく

火災対応訓練や応急手当普及活動など、防火防災、応急手当に関する知識を学ぶため、災害発生時だけでなく、日常起こり得る突発的な事故にも落ち着いて対応できます。



地域との絆が深められる

消防団は、地域の住民で構成され、幅広い年代、多様な職種の人が「自らの地域は自らで守る」という同じ志を持っています。

訓練やイベントで、日常ではあまり触れ合う機会がない人とも交流することができるので、地域の方々との絆を深めることができます。



こんなに手厚い福利厚生

消防団の身分は、非常勤の特別職地方公務員です。

報酬は、団に所属していることでもらえる「**年額報酬**」と、出勤することでももらえる「**出勤報酬**」の2種類があります。災害対応などを行うと報酬が支払われ、活動中けがを負った場合には、「**公務災害補償**」の対象となります。

また、5年以上勤めた団員は勤務年数・役職に応じて「**退職報償金**」を受け取ることができるなど、福利厚生が充実しています。

年額報酬と出勤報酬は、費用弁償なので一定の金額までは**非課税**です。



入って良かった消防団！

年額報酬

「団員」階級 階級によって金額は異なります。
36,500 円 / 年

出勤報酬

災害出勤	
8,000 円	
訓練等	
3,000 円	
会議出席	
2,000 円	



災害はいつ発生するか分かりませんが、どうしても外せない用事がある時や、遠方にいる時などは無理に駆けつける必要はありませんので、ご安心ください。

火災で消防団に招集がかかったときに、どうしても外せない用事があった場合はどうしたらいいの？

消防団員は火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場に駆けつけ、消火活動等を行っています。

消防士は常勤の公務員で消防署に勤務しています。

一方、消防団員は普段は別の仕事を持ち、火災や災害発生時には地域のために消火活動を行う非常勤の特別職地方公務員です。

消防団員と消防士の違いは何？

消防団の



あなたも
滝川を守る
ヒーローに

消防団員募集

消防団に入りたい、話を聞いてみたいという方は、下記までご連絡ください。

滝川消防署管理課
Tel 23 - 1253



消防団は、地域の消防力・防災力の向上や、地域コミュニティの活性化に欠かせない存在です。
その活動は消火活動だけでなく、消防関係のイベントへの参加や、防火についての広報活動など多岐に渡ります。
その分、消防団で培った知識や経験、地域の人のつながりが生きる機会が多くあります。
また、活動を支える福利厚生も充実していて、金銭面でのサポートのほか、年に一度家族慰安会も開催され団員同士の親睦を深めています。
皆さんも、大切なまちを守るために、消防団の一員になりませんか。

INTERVIEW

現役の消防団員のお二人にお話を伺いました。



昨年入団した
女性分団員

高田 仰さん



消防団歴 13 年
第四分団員

渡邊 久之さん

江部乙で農家をして
います。
訓練は夕方からなので、団員としての活動も無理なく続けることができています。

障がいのある方の相談支援員の仕事をしています。
会社が消防団の活動に理解を示し、協力してくれています。

10 年前に元女性分団員の方に勧誘をいただいたことがあったのですが、当時は子どもも小さくお断りしました。

しかし、そのことが心のどこかで引っかかっていて、子どもが大きくなったのをきっかけに社会貢献したいという思いから消防団に入団しました。

また、夫も 20 年ほど消防団員をやっていて、いきいきと地域の方と活動しているのをそばで見えたので、自分も消防団員として活動してみたいと思ったのもきっかけの一つです。

消防団の仲間は、年齢や職種を問わずいろいろな方がいて、交流することができます。

イベントや訓練を通して、地域の方や消防団の仲間との絆も深められ、一つの目標に向かって一丸となって取り組むことで達成感を味わうことができるのも魅力の一つです。

先輩方は規律を重んじつつも、優しく丁寧に指導してくれるので、新しく入ってくる方も気兼ねなく入ってきてほしいです。



防火フェスティバルでは、救命体験コーナーを担当しました！

滝川消防団の代表として出場した北海道操法訓練大会では、見事 3 位に！



消防団の入団条件

消防団に入団するためには、次の条件にすべて当てはまる必要があります。

- 市内在住者
- 心身ともに健康な 18 歳以上 50 歳以下の方
- 長く消防団に従事できる方
- 人と関わるのが好きな方
- 反社会勢力と関わりのない方

活動服・防火服・雨衣などの装備品一式は、貸与されますので購入費はかかりません！



※各分団には定数があるため、ご希望に添えない場合があります。